

平成29年度

九州工業大学免許法認定公開講座

「情報」受講生募集案内

九州工業大学では、教育職員免許法第6条別表第4号および教育職員免許法施行規則第39条(第43条の5)の規定による免許法認定公開講座を開講します。

高等学校教諭一種免許状または専修免許状を有する者は、高等学校教諭一種免許状(教科「情報」)を取得するために必要な単位を修得することができます。

※ただし、2年間を通したカリキュラムとなっているため、免許状の授与資格を取得するために必要な単位を揃えるには、2年間受講する必要があります。

開設科目等

開設科目名 (授業科目)	授与 単位	日数	受講料	受講定員	備考
プログラミング(注1)	2	4日間	12,200円	30人	実習有
オートマトン理論	2	4日間	10,200円	30人	
データベース	2	4日間	12,200円	30人	実習有
情報ネットワーク	2	4日間	12,200円	30人	実習有
マルチメディア技術	2	4日間	12,200円	30人	実習有
情報社会と教育	2	4日間	10,200円	30人	
情報倫理	2	4日間	10,200円	30人	
教科教育法(情報)Ⅱ	2	4日間	10,200円	30人	

(注1)「情報リテラシー(計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識)」の内容を前提に授業を進めます。

希望者は、別途開講されます情報教育支援士養成プログラムの「情報リテラシー」、「プログラミング入門Ⅰ及びプログラミング入門Ⅱ」(受講料9,800円)を事前に受講することが可能です。

開催場所

- 九州工業大学飯塚キャンパス(福岡県飯塚市川津680-4)
- 九州工業大学サテライト(福岡市中央区天神1-7-11 天神イムズ11F 福岡天神サテライト)
(飯塚キャンパス、サテライト連絡先:0948-29-7500 九州工業大学情報工学部総務係)
※2つの会場をネットワークで中継します。

受講資格

高一種(情報): 他教科の高等学校教諭一種免許状又は専修免許状を有する者

申し込み・問い合わせ先：九州工業大学情報工学部教務係
〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4
TEL:0948-29-7512 FAX:0948-29-7517
E-Mail:jho-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp

講習料等必要経費

- 各コースの講習料に別途、振込手数料がかかります。
- 開設科目によっては、テキスト代が必要になる場合があります。(抽選結果連絡時にご連絡します。)

申し込み方法

○申込みは、平成29年2月13日(月)～ 4月21日(金)消印有効で郵送にて受け付けます。

○申込み先は、九州工業大学情報工学部教務係です。

○下記の必要書類を揃えて、郵送にてお申込み下さい。なお、書類に不備がある場合は抽選対象と
ならない場合がありますので、ご了承下さい。

- ①受講申込書(必要事項の記入を済ませておいて下さい)
- ②高等学校教諭一種免許状又は専修免許状のコピー(両面の場合は両面共お願いします)

○申込み多数の場合は抽選となりますので、ご了承下さい。なお、当選者には講習料振込用紙を発送
しますので、現金書留等による事前の納付は絶対に行わないで下さい。

○電話等による抽選結果の問い合わせには応じられませんので、ご注意願います。

受講申込書

教科:「情報」

写 真
(6ヶ月以内のもの)

受付番号	※				写 真 (6ヶ月以内のもの)	
フリガナ			性別	男・女		
氏 名					昭和 平成 年 月 日	
E-mailアドレス	(自宅・勤務先・携帯)					
フリガナ						
住 所	〒					
	電話 ()		携帯			
勤務先 役職						
勤務先 所在地	〒					
	電話 ()					
受 講 申 込 欄(高一種)						
No.	開設科目(授業科目)	受講 希望	受講金額	備 考		
0	情報リテラシー		9,800円			
0	プログラミング入門Ⅰ		9,800円			
0	プログラミング入門Ⅱ					
1	プログラミング(注1)		12,200円			
2	オートマトン理論		10,200円			
3	データベース		12,200円			
4	情報ネットワーク		12,200円			
5	マルチメディア技術		12,200円			
6	情報社会と教育		10,200円			
7	情報倫理		10,200円			
8	教科教育法(情報)Ⅱ		10,200円			
合 計 金 額			円	希望会場 飯塚・福岡・どちらでも可 ※いずれかに○をお願いします。		

※ No.0の「情報リテラシー」、「プログラミング入門Ⅰ」、「プログラミング入門Ⅱ」は、情報教育支援士養成プログラム開講分であり、「プログラミング」の受講に必要な基礎的知識を履修できます。

各開設科目の概要について

科目区分	開設科目	科目の概要
コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	プログラミング	授業の前半は、C 言語を用いたプログラム作成技術の習得を目的とする。後半は、アルゴリズムの評価方法や基本的なデータ構造・アルゴリズムについて学習し、効率の良いソフトウェア作成技術の習得を目的とする。 ※ 前提知識・・・計算機リテラシー(計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識)【希望者は、別途開講される「情報リテラシー」及び「プログラミング入門Ⅰ・Ⅱ」の受講が可能】
	オートマトン理論	”オートマトン” は、現在の計算機に共通する計算の原理の数学的モデルであり、”形式言語”は、プログラミング言語、自然言語処理における基礎分野である。この講義では、この2つについて体系的に講義するとともに、この2つを用いて定義される計算能力のクラスについても教授する。
情報システム (実習を含む)	データベース	データベースは、計算機科学の中でもっとも基礎的な分野の一つである。データベース管理システムは、大量のデータを管理するシステムとして、広く応用されている。本講義では、データベースの基礎概念からデータベースの設計法、データベースプログラミングまでを習得することを目的とする。
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	情報ネットワーク	コンピュータをネットワークで結ぶことにより、従来にない便利なサービスが提供できるようになり、インターネットは爆発的に普及した。本科目では、TCP/IP で利用される技術を中心に、インターネットの成り立ち、インターネットの動作の仕組み等を学習する。
マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	マルチメディア技術	マルチメディア技術を学習する。GUI を用いて音声メディア、画像メディア、3D アニメーションなどを学習する。
情報社会及び情報倫理	情報社会と教育	情報社会の構造と特質の理解に基づいて、情報化がもたらす社会構造の変化、及び情報技術の革新がもたらす社会的影響について講義する。また、情報社会の諸課題を解決する情報技術と求められる倫理観についても言及する。さらに、情報社会における教育の変化や情報化について教えるとともに、情報教育や情報セキュリティ確保など教育の情報化におけるICT支援の内容や方法についても扱う
	情報倫理	高度情報社会における情報の恩恵(光)と問題(影)について、事例を示しながら解説する。また、その情報社会の光と影について適切に対応する知識や技術、態度を習得するための演習を行う。
教育課程及び指導法に関する科目	教科教育法(情報)Ⅱ	高等学校教育に普通教科「情報」と専門教科「情報」が新設され、情報化社会を主体的に生きるために必要な情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の育成が求められている。新教科「情報」では、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と、情報モラルの育成が必要である。教科教育法(情報)Ⅱでは、教科「情報」の授業に焦点を当て、授業計画、授業環境の整備、学習評価、教材開発、指導案の作成、授業実践の方法などに関する講義を行う。さらに、模擬授業を実施し、評価・改善して教科「情報」を担当する教師としての実践的な力量の形成をめざす。

* 申込注意事項 *

単位の授与

試験、レポート等による成績評価で合格と判定された場合に単位を授与します。
また、各科目とも総授業時間数の5分の4以上の出席が求められます。
なお、大学の通常講義と同じですので、不合格になることもあります。

申込書記入上の注意

1. 申込書は楷書でご記入下さい。
2. 受講を希望する開設科目(授業科目)右側の受講希望欄に、○印を付して下さい。
3. ○印の付した受講金額の合計を合計金額欄に記入して下さい。
4. ※欄は記入しないで下さい。
5. 申込みは、郵送をお願いします。(持ち込み可)
申込み多数の場合は、抽選となります。ただし、書類に不備がある場合は抽選対象とならない場合があります。
6. 抽選の結果は後日連絡します。なお、電話等による抽選結果の問い合わせには応じられません。また、講習料は抽選結果連絡時に振込方法をお知らせしますので、現金書留等による事前の納付は絶対に行わないで下さい。
7. 必要書類は、下記のとおりです。
 - ① 受講申込書(必要事項の記入を済ませておいて下さい)
 - ② 高等学校教諭一種免許状又は専修免許状のコピー(両面共)

お問い合わせの前に

下記ホームページをご参照下さい。

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/supporter/josi/license-law/>